

麻しん（はしか）流行に伴う、外来受診患者さん

へのお願い

現在、沖縄県で台湾からの旅行者を契機として、**麻しん（はしか）患者が増加**しています。また愛知県でも、沖縄県旅行中に感染した方を契機に感染の拡大が見られています。今後、広範な地域において麻しん患者が発生する可能性があります。

発熱や発疹等にて当院を受診される患者さんで、過去 3 週間以内に沖縄県（愛知県や海外なども含む）に立ち寄った方や、麻しん患者（疑い患者も含む）と接触した経緯がある方は、**早急に職員へ申し出てください**。また麻しんは感染力が非常に強く、同じ空間を共にするだけで他人に感染させてしまう可能性があります。**必ず事前に「麻しんかもしれない」ことを連絡の上、公共交通機関の利用を避け、速やかな受診**をお願いいたします。*麻しんについて下記参照

*麻しん（はしか）とは

主な症状	38℃前後の発熱 が 2～4 日間続き、咳や鼻水といった 感冒症状 が出ます。 その後、 高熱 （多くは 39℃以上）が出るとともに、 発疹 が出現します。その後、多くは 7～10 日で症状が回復します。 肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発生すると言われています。
感染経路	空気感染*、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その 感染力は非常に強く、感染する期間は、発症の 1 日前から解熱後 3 日頃までとされています 。 免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。 *麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以内と言われています。
潜伏期間	約 10 日～12 日間（最大 21 日間）
治療法	特異的な根本療法はなく、対症療法を行います。
予防方法	麻しんは感染力が強く、手指衛生、マスクのみで予防はできないため、 麻しんの予防接種が最も有効です 。 麻しん罹患歴がない方、麻しんワクチンを 2 回接種していない方は、 予防接種を検討することをお勧めします 。

*ワクチンをご希望の方は、事前に外来までご相談ください。